

報道関係各位

Short Films Express

土屋アンナが語る「コーヒーと映画」 iPhone、アンドロイド用無料アプリ「Short Films Express」で読める！

米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」の企画・運営ほか、ショートフィルムの総合ブランド「ShortShorts」を掲げる株式会社パシフィックボイス(所在地:東京都渋谷区、代表:別所哲也)が、ショートフィルムファンに向けリリースしているiPhone、iPad、アンドロイド用無料アプリケーション「Short Films Express」で土屋アンナさんのインタビューがご覧頂けます。

このインタビューは、ネスレ日本株式会社が手がけるエンタテインメントサイト「ネスレアミューズ」内でショートフィルムを楽しんでもらうためのコンテンツ「Nestlé Amuse × ShortShorts」内の「コーヒーと映画」をテーマに著名人を迎えたコンテンツ“マグカップトーク”と連動しています。土屋さんは、SSFF & ASIAにも馴染みが深く、アグレッシブにロックを歌う姿と飾らない振る舞いに、憧れを抱く人も多いモデル/ミュージシャン。インタビューでは、コーヒーと映画にまつわる話以外にも、PVなどのショートフィルムに込められた想いから、クリエイティブの本質と彼女の生き方に迫ります。



【マグカップトークより抜粋】

Q: 素直で、裏表のない姿勢やライフスタイルが、多くの女性に支持されているんだと思います。心のどこかでそうありたいと思っている人も多いと思いますが、実際でない。コツを教えてください。

A: もう、ケンカするのよ(笑)。自分とも、周りとも。みんなとケンカするけど、その代わりめっちゃ仲良し。親とも何度もケンカしてきましたね。頭の中を見せられたら簡単だけど、できないから日々ケンカしたり、泣いたり。自分自身がどんな人間かですら一生わからないのに、他人にはもっと伝えようとしなくちゃいけないと思うんですよ。

土屋アンナプロフィール

1984年3月11日生まれ、東京都出身。モデル・アーティスト、女優としても活動。主演映画に『さくらん』。出演作に『下妻物語』『嫌われ松子の一生』『どろろ』『パコと魔法の絵本』『ヘブンズ・ドア』『カムイ外伝』。現在『パナソニック』『ライオン』『EDWIN』CMオンエアー中

※オフィシャルサイト <http://anna-t.com>

<Short Films Express アプリケーション概要>

- 販売場所: App Store, Android Market
- アプリ特設サイト: <http://www.shortshorts.org/app/>
- 価格: 無料



「Short Films Express」アプリアイコン



インタビューページ画面

Nestlé Amuse
マグカップトーク



いろいろなタイプの映画があるけど、映画を見るのって何よりもいいことだと思いますね。特に私は、映画を見るのって、何よりもいいなって思ってます。PVはもううまいイメージを作り出している作品で、本当にいい作品だと思います。今までで映画ばかりでなく、音楽で映画を作りたててみたいと思ってます。これからは映画も音楽もどちらもやってみたいですね。

ミュージシャンとして映像に関わるのはPVが多いくらいですが、今身のPV制作などで始めたことはありますか?

自分が映画で映すよりも音楽に感動されました。人間は映画でいて面白いたいと思うんですけど、音楽でいて面白いたいと思うんですけど、自分たちは映画でしか映画を作れないから、音楽でいて面白いたいと思います。例えば、「音楽で面白くなる」とか、「音楽で面白くなる」とか、PVはもううまいイメージを作り出している作品で、本当にいい作品だと思います。今までで映画ばかりでなく、音楽で映画を作りたててみたいと思ってます。これからは映画も音楽もどちらもやってみたいですね。

そういう意味では、ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2010で、曲を聴いたインスピレーションから映像を作るミュージック Sheer 開門で、土屋アンナさん(=BraveVibration)が躍躍曲となり、日高尚人監督が「ミルチエロココロ」というショートフィルムを特別制作しました。まさに想像力の賜物ですね。

「ミルチエロコロ」、マイ笑いました(笑)。第一回は「なぜ、こうなった?」でも聴いてもらいました(笑)。【BraveVibration】の曲の時は、音楽パフォーマンスで見せてもらったりして、自分たちは映画でしか映画にはならないから、音楽で見せてもらったりして、こう撮ったんだよな。

自分が想像できる範囲のものだから面白くなかったけれど、想像を絶んでいました!すごく元気になる作品ですよ。

■「ネスレアミューズ」について

「ネスレアミューズ」のコンセプトは、「ユーザーが何度も来訪したくなるような、居心地の良いWEBサイト」です。映像・音楽コンテンツ、ブランド連動コンテンツ、ゲーム、レシピ情報など、老若男女幅広い世代の方々が“見る・聴く・買う”を楽しめるバラエティ豊かなコンテンツを取り揃えています。「ホッと一息」ついた時に、「ネスレアミューズ」で楽しいひとときを過ごす、そんな身近な存在となるように、今後も様々なコンテンツをご提供します。

URL: <http://nestle.jp/>

■「コーヒーと映画」をテーマにした、著名人のインタビューコンテンツ“マグカップトーク”

映画に関する著名人にゲスト出演いただき、ゲストのコーヒーに対するこだわり、コーヒーブレイクの過ごし方、お気に入りの映画紹介から仕事に対する考え方など普段知ることのできないゲストの一面を紹介するインタビューコーナーです。

URL: <http://nestle.jp/ssff/interview/>

■「Short Films Express」

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)による無料アプリケーション。SSFF & ASIAの最新情報、映画界をリードする著名人のインタビューや新進気鋭の若手映像監督の紹介、ショートフィルムアプリケーションの販売など、ショートフィルムに関する最新情報をiPhone、アンドロイド端末でご覧頂けます。

URL: <http://www.shortshorts.org/app/>

土屋アンナさん楽曲提供によるショートフィルム『ミステルロココ』が海外販売開始となりました！

最新ショートフィルムアプリ『ミステルロココ』

(監督:日高尚人／13:30／2010 使用楽曲:土屋アンナ「Brave vibration」)

SSFF & ASIA 2010 ミュージックShort クリエイティブ部門特別製作作品

出演:佐津川愛美、猫ひろし、ミステルカカオ、バンクーバーキャット、他



『ミステルロココ』アイコン

■本編映像

■特典

- ① 作品紹介
- ② スタッフ & キャストコメント
- ③ 画コンテ公開
- ④ 佐津川愛美の衣装合わせ風景

作品公式サイト: <http://mrrococo.net/>

【土屋アンナさんからのメッセージ】



「笑えた！笑えた！
まったくラストが読めなくて、
なんかやられたあ～って感じ。
ぶれいぶぱいぶれいしょん
をこうとるとは…(笑)」

価格: 350円

可愛いだけの人生なんてもうまっぴら！！失恋した少女の華麗で壮絶な復活劇を描いたラブコメディ。
笑って泣ける異色のヒロインを佐津川愛美が熱演。恋人役には猫ひろしが！？



【ストーリー】

少し普通じゃない両親に溺愛され、か弱くてかわいいものだけを愛するようになったユリの前に突然現れた、かわいい国王子さまヒロ。2人は惹かれ合い、永遠にバラ色の日々が続くと思われたが…。

▼ 株式会社パシフィックボイス (<http://www.pacvoice.com/>)

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の企画・運営を行う株式会社パシフィックボイスは、太平洋を越えて映像文化の交流がより盛んになることを応援する事業としてスタートしました。アジアの情報基地Tokyoと、映像産業の中心地Los Angelesに拠点をおき、ビジュアルコンテンツの未来の担い手として、世界をつなぐ事業を展開。また、俳優及びスポーツ選手・文化人を中心に、それぞれの個性を大切に育てるマネジメントを提供しています。

▼ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (<http://www.shortshorts.org>)



口米国俳優協会(SAG)の会員である、俳優別所哲也が創設者としてスタート
新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、別所哲也が創設者として1999年
年に東京・原宿で誕生した映画祭。2004年からは、日本作品を含むアジア諸国の作品を紹介する
「ショートショートフィルムフェスティバルアジア」を設立し、現在は「ショートショートフィルムフェスティ
バル＆アジア」(以下SSFF&ASIA)として、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しました。
海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も、積極的に
行っています。

日本で唯一 米国アカデミー賞公認国際短編映画祭

2004年6月には米国アカデミー賞公認映画祭に認定されるという栄誉を受けました。これにより、私共の映画祭でグランプリを獲得した映像作家の作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への、架け橋ができたのです。

口映画『スターウォーズシリーズ』ジョージ・ルーカス監督の応援を13年間受けている映画祭

映画「スターウォーズ」のジョージ・ルーカス監督には、1999年の映画祭設立当初より本映画祭を応援して頂いております。他にも、マーティン・スコセッシ監督や、香港のジョニー・トウ監督、「ロスト・イン・トランスレーション」のソフィア・コッポラ監督、幻想的な世界感がハリウッドをも魅了するウォン・カーワイ監督、「ラン・ローラ・ラン」などのヒット作を産出すドイツのトム・ティクヴァ監督、ジョージ・クルーニー主演「マイレージ・マイライフ」のジェイソン・ライトマン監督など、毎年数多くの著名人から温かい応援メッセージを頂き、映画祭もより一層の盛り上がりを見せております。

▼ ブリリア ショートショートシアター(<http://www.Brillia-SST.jp>)



当シアターは日本初の映画祭と連動したショートフィルム専門の映画館として2008年に横浜みなとみらいに誕生。1プログラムは60分で4~6本のショートフィルムで構成されています。通常のプログラムでは世界中から選りすぐりのショートフィルムを集めており、米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」で上映されたコンテンツも上映。国際映像文化事業としても注目を集めているショートフィルムの活性化、世界にも通じる高いレベルの映像作品をみなさまと共有したいという考えのもと、若手クリエイターへの支援も含め、横浜みなとみらいからショートフィルムの魅力を発信しています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社パシフィックボイス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F

アプリケーションソフト担当・映像事業部：諏訪

TEL:03-5474-8844

PR担当:高橋、川村

TEL:03-5474-8201 FAX:03-5474-8202 e-mail : press@shortshorts.org